

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

NEPAD-OECD-SADC-IFC-JICA 共催

官民連携によるインフラ投資環境整備に向けた挑戦

－官民連携で行うアフリカのインフラ開発について議論－

国際協力機構（JICA）は、5月31日14時より、JICA横浜にて、アフリカ開発のための新パートナーシップ（NEPAD）、経済協力開発機構（OECD）、南部アフリカ開発共同体（SADC）、国際金融公社（IFC）と共催で、アフリカでのインフラ投資整備をテーマにセミナーを開催しました。アフリカからは、セネガル共和国のサル大統領、モザンビーク共和国のズクーラ情報通信大臣、NEPADのマヤキ長官などが登壇し、OECDからは玉木事務次長が、SADCからはカホロ事務局次長、IFCからはプロスパー・アフリカ・ラテンアメリカ担当副総裁が登壇しました。JICAからは、堂道副理事長や市川理事が出席し、官民連携によるインフラ投資に向けた挑戦について議論しました。



このサイドイベントは、SADC 地域及びその他アフリカにおけるインフラ投資のボトルネックとなっている共通事項を浮き彫りにし、それらを克服するための好事例や施策を共有するとともに、アフリカにおけるインフラ開発マスタープランの概要や2012年から5年間の短期アクションプランにおける優先案件を日本企業やその他投資家、アフリカ政府関係者に紹介しながら、今後のインフラ投資の在り方につき議論するために開催されました。

セネガル共和国のサル大統領は、官民両セクターの連携による地域インフラ開発プロジェクトの重要性を強調しました。また、各登壇者は、アフリカでは、毎年インフラ投資に必要とされる支出のわずか半分以下しか実際には投資されていない点、また、これらの投資のほとんどが ODA や公共事業である点等を強調し、今後民間企業のさらなる進出の必要性が議論されました。

今回のセミナーでは、アフリカの首脳クラスと各国際機関、そして JICA が一堂に会し、インフラ投資におけるこれまでの経験、挑戦、そしてビジネスチャンスの情報を共有する場となりました。また、インフラへの投資が、地域統合や競争力、開発の加速化にとって非常に重要であることが再認識され、今後、より多くの日本企業がアフリカへの投資に踏み出すことも期待されます。JICA は今後とも、各国のニーズに応じ、さまざまな形で官民連携の推進に貢献していきます。

## 【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

### ■本イベントの登壇者

- ・ セネガル共和国 サル大統領
- ・ モザンビーク共和国 ズクーラ情報通信大臣
- ・ NEPAD マヤキ長官
- ・ OECD 玉木事務次長
- ・ SADC 事務局 カホロ事務局次長
- ・ IFC プロスパー・アフリカ・ラ米担当副総裁
- ・ JICA 堂道副理事長
- ・ JICA 市川理事
- ・ OECD ダハウ・エグゼクティブマネジャー
- ・ SADC 事務局インフラサービス部 マクンベ部長
- ・ IFC 官民連携ユニット バガット・グローバルリード

### 【モデレーター】

- ・ 中村 JICA 南アフリカ共和国事務所長